

「第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」概要版

1 中心市街地の活性化に関する基本的な方針

中心市街地の概況

○政治・経済・文化の中心地 ○交通の要衝 ○多様な地域資源が存在

これまでの取組（第1期計画）

＝ 衰退する中心市街地の賑わい回復に向けた取組の推進 ＝

【計画期間】平成22年4月～平成27年3月（5カ年）

【計画区域】約168ha

【計上事業】37事業（完了5、実施中30、休止2、進捗率約95%）

【目標達成状況】

目標	基準値	目標値	現状値・基準との差
目標①（事業所）	2,794事業所（H18）	2,811事業所（H26）	2,548事業所（H24）△246
目標②（通行量）	46,987人（H21）	49,300人（H26）	53,605人（H25）+6,618
目標③（居住人口）	7,966人（H21）	8,700人（H26）	7,952人（H26）△14

○現行計画に掲げた事業はほぼ計画通り実施

○通行量（歩行者・自転車）は増加。一方で事業所数や居住人口は減少

中心市街地の現状

○商業・業務・医療・公共施設等の都市機能が一定程度集積

○小規模な駐車場等の低・未利用地が点在

○空き店舗は減少したが未解消

・空き店舗数：111店舗（H22）→75店舗（H26）△36

○産業機能が低下傾向

・事業所数：4,013事業所（H21）→3,681事業所（H24）△332

・従業者数：39,988人（H21）→36,461人（H24）△3,527

○商業機能が低下傾向

・小売売場面積：134,400㎡（H14）→129,688㎡（H19）△4,712

・小売販売額：1,131億円（H14）→1,037億円（H19）△94

○休日の通行量は増加。一方で平日の通行量は伸び悩み

・通行量：休日/55,025人（H22）→68,756人（H25）+13,731

平日/60,961人（H22）→58,688人（H25）△2,273

○居住人口が減少、少子高齢化が進行

・居住人口：15,918人（H22）→15,699人（H26）△219

・老年（65歳以上）人口：市全体19.7%、中心市街地26.8%（H22）

・年少（15歳未満）人口：市全体14.2%、中心市街地9.2%（H22）

市民ニーズ（H25市民アンケート結果）

○中心市街地の利用目的は「買い物」（66.7%）

○商業活性化に必要な取組は「商店街の空き店舗を解消する」（53.5%）

○中心市街地が「賑わっている」（24.5%）、「行きやすい」（42.7%）

○中心市街地は「日常生活が便利で暮らしやすいまち」、「買い物を楽しむことができるまち」、「歩いて楽しい歩行者中心のまち」、「年間を通してイベントやお祭りがあにぎわいのあるまち」を目指すべき

第1期計画の総括

○空き店舗対策や多様な主体による活性化への取組の活発化により、休日通行量増加など賑わいは回復傾向。一方で平日の通行量は伸び悩み

○市街地再開発事業等や都心居住策により居住人口は一時増加するものの、近年は減少

○事業所数や従業員数、小売販売額の減少など経済活力指標が総じて低下

⇒恒常的な賑わい創出や経済活力向上に向けた取組の推進が必要

上位計画における中心市街地の位置づけ

【ネットワーク型コンパクトシティ】

○ネットワーク型コンパクトシティの中核となる「都市拠点」として高次な都市機能を集積。都市拠点を中心とした放射状の交通ネットワークを構築

【都心部ランドデザイン】

○センターコアとJRコア、東西都心軸と南北都心軸からなる2核2軸の骨格構造を形成し、都心部全体の一体的な発展を図る。

社会潮流・国の方向性

【社会潮流】

○人口減少、少子・超高齢社会の到来への対応

○地域産業・経済の持続的発展の要請

○環境にやさしい都市づくりへの要請

【国の方向性】

○コンパクトシティの実現

○民間投資の喚起

○地域公共交通の充実

計画の特徴

【都市拠点の形成と地域経済の活性化】

都市拠点にふさわしい機能の集積・誘導など「賑わいの基盤・環境づくり」を行うとともに、経済活動の主役である民間自らの創意工夫による多様な取組を推進

○「都市拠点」づくりに向けた都市機能集積の推進

長期的な視点に立ち、ネットワーク型コンパクトシティの中核となる「都市拠点」としてふさわしい高次の都市機能の集積や、公共交通ネットワークの構築に向けた施策・事業に取り組む

⇒再開発等市街地整備事業の推進

※立地適正化計画による都市機能の誘導、公共機能の再配置など

○経済活性化等に向けた民間主体の取組の積極的な推進

民間が主体となった取組については、計画期間内に事業化等を目指すものなどについても幅広く計画に盛り込み、積極的に推進

⇒民間事業/計上事業：第1期（12/37）→第2期（25/59）

活性化への課題

【課題1】
経済活力の向上

【課題2】
来街者の増加

【課題3】
居住人口の確保

活性化の基本方針

【方針1】
経済活動が活発に行われるまちづくり

【方針2】
日常的に人々が行き交うまちづくり

【方針3】
子どもから高齢者まで安心・快適に暮らせるまちづくり

2 中心市街地の活性化の目標と施策の体系

計画期間：平成27年4月から平成32年3月まで（5カ年）

計画対象区域：約168ha

○「都心部ランドデザイン」で位置づけた中心市街地及び「ネットワーク型コンパクトシティ」における都市拠点の範囲（約320ha）のうち、5年間で重点的に活性化に取り組む区域を計画対象区域として設定（第1期計画区域を継続）

将来像

目標と施策の体系 ※は再掲事業

<目標1> 宇都宮の“顔”となり市全体をけん引する活力あふれるまち

施策1-1 都市機能の集積

重点事業 ○JR宇都宮駅西口周辺地区の整備 ○JR宇都宮駅東口地区整備事業 ○宇都宮大手地区市街地再開発事業

施策1-2 地域経済の活性化

重点事業 ○中心商業地出店等促進事業 ○魅力ある商店街等支援事業 ○ガンバルまちなか活性化支援事業 ○商店街次世代経営者育成事業

<目標2> 街なかなかではの魅力と賑わいあふれるまち

施策2-1 地域資源を活用した魅力づくり

重点事業 ○魅力ある景観づくり事業 ○公共空間を活用した賑わい創出事業

施策2-2 誰もが利用しやすい移動手段の確保

重点事業 ○LRTの導入 ○公共交通利用促進事業

<目標3> 誰もが憧れ「住みたい・住み続けたい」と思うまち

施策3-1 居住環境の整備

重点事業 ○宇都宮大手地区市街地再開発事業※ ○魅力ある景観づくり事業※ ○都心部道路景観整備事業（市道3号線） ○ガンバルまちなか活性化支援事業※

施策3-2 街なか居住の促進

重点事業 ○若年夫婦・子育て世帯家賃補助 ○住宅取得支援事業補助

◇上記事業のほか、計画期間内に事業化を目指すものを計上（空き店舗の活用促進事業、LRTのJR宇都宮駅西側導入を見据えた街なか活性化事業など）

活性化戦略

<活性化戦略1>

リーディングエリアにおける賑わいの増強

①オリオン通りと2つの拠点によるリーディングエリア※づくり
②市民主導による活性化事業の推進

※拠点1：オリオンスクエア・宮カフェ
拠点2：二荒山神社周辺

<活性化戦略2>

リーディングエリアに集まる賑わいの中心市街地全体への波及

①波及効果を高める各エリア※づくり
②安全・快適に楽しく回遊できる動線づくり

※ユニオンエリア、交流エリア、親水エリア、歴史エリア、JRエリア、小幡・清住エリア

<基盤形成戦略>
持続可能なまちづくり基盤の強化

①拠点にふさわしい機能の集積による都市拠点の形成
②賑わいのベースとなる居住人口の確保
③都市ブランド構築による「誇り」や「憧れ」の醸成
④誰もが利用できる交通ネットワークの形成
⑤環境にやさしいまちづくりの推進

3 目標指標

<目標1> 宇都宮の“顔”となり市全体をけん引する活力あふれるまち

目標指標	基準値	目標値 (H31)	把握手法
事業所数	2,548 事業所 (H24)	2,576 事業所	経済センサス
【参考指標】空き店舗数	75 店舗 (H26)	47 店舗	空き店舗調査

設定の考え方

- 【目標指標】減少傾向が続く事業所数に歯止めをかけ、一定の増加へと転換させる。
⇒ 空き店舗対策の実績(年平均5店舗減少)を今後も持続させるとともに「空き店舗補助」に係る事業のさらなる利用促進を図る。
- ⇒ 空き店舗を28店舗解消=28事業所の増加を見込む。
- 【参考指標】商業集積を図る指標として、毎月のフォローアップが可能な空き店舗数を設定

<目標2> 街なかならではの魅力と賑わいあふれるまち

目標指標	基準値	目標値 (H31)	把握手法
歩行者・自転車通行量 (①平日②休日)	① 99,428 人 (H25) ② 116,189 人 (H25)	① 107,400 人 ② 130,000 人	商店街通行量調査
【参考指標】賑わいを感じる市民の割合	24.5% (H25)	30.0%	アンケート

設定の考え方

- 【目標指標】課題である「恒常的な賑わい」づくりと「回遊性の向上」、「中心市街地全体の賑わい状況」を把握するため、平日と休日の双方、全ての調査地点(28箇所)を指標として設定(第1期計画は、10地点・休日)
- ・商店街活性化策による交流人口の増加や街なか居住の促進などの取組により得られる効果を積み上げ
⇒ 平成25年より平日は8%、休日は12%の増加を見込む。
- 【参考指標】賑わいの実態として、市民が実際にどう感じているかを把握し、前回調査から同程度以上の増加を見込む。

<目標3> 誰もが憧れ「住みたい・住み続けたい」と思うまち

目標指標	基準値	目標値 (H31)	把握手法
居住人口(※)	8,358 人 (H26)	8,550 人	住民基本台帳
【参考指標】中心市街地に住みたいと思う市民の割合	8.4% (H25)	10.0%	アンケート

※住民基本台帳法の改正(H24年7月)に伴い、日本人及び外国人の合計としている。(第1期計画は、日本人のみ)

設定の考え方

- 【目標指標】「居住人口」を設定し、維持・増加を目指す。
- ・本市全体の人口減少が見込まれる中であっても、中心市街地においては一定の居住割合(1.62%)を維持
⇒ 「家賃補助」や「市街地再開発事業」による効果で578人を積み上げ、平成26年より約190人増を見込む。
- 【参考指標】「中心市街地に住みたいと思う市民」の割合を、前回調査から同程度以上の増加を見込む。

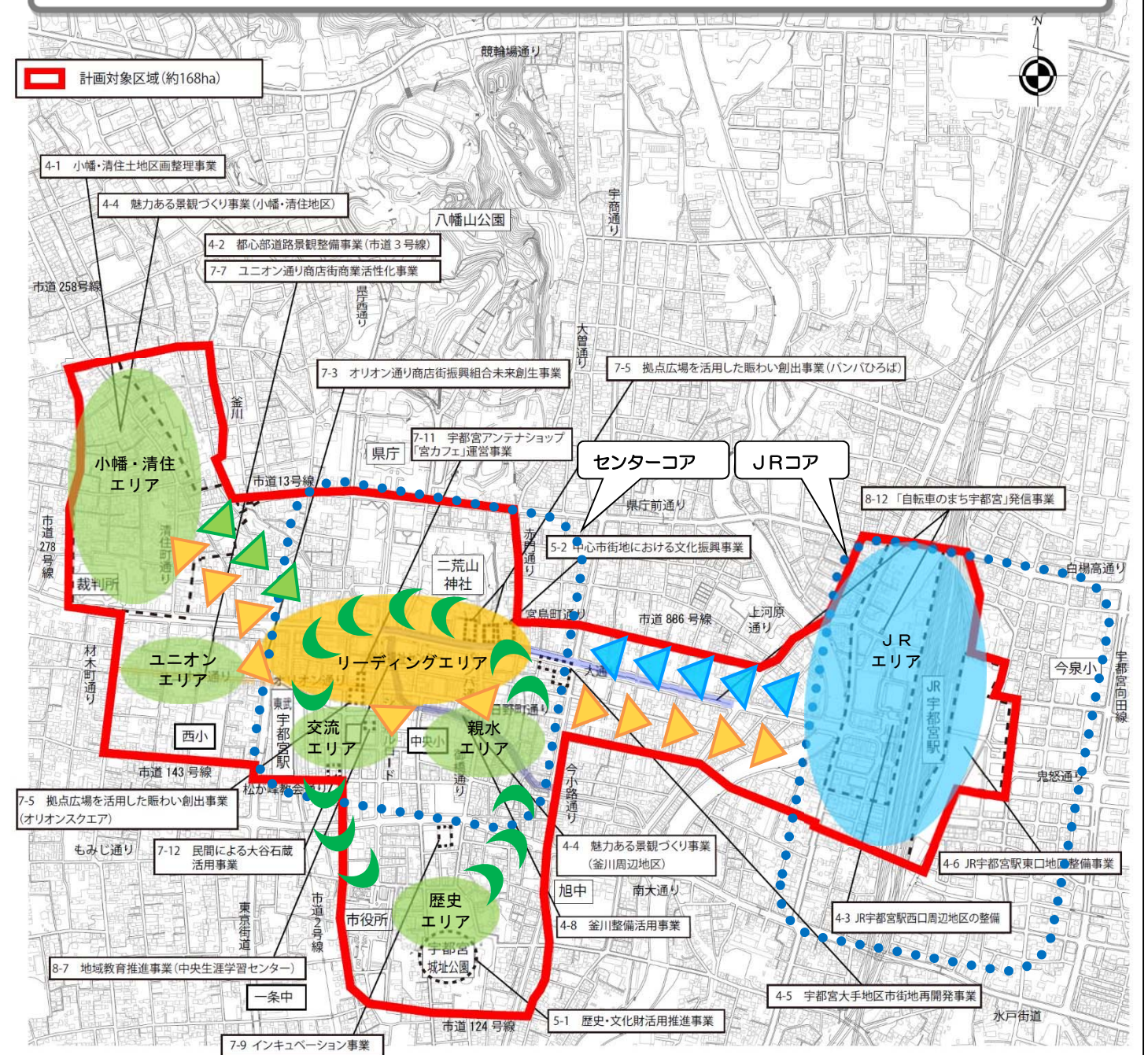
4 計画の推進体制

【庁内組織】中心市街地活性化推進委員会—作業部会(計上事業の円滑かつ着実な推進、活性化に向けた施策・事業の検討)

【庁外組織】宇都宮市中心市街地活性化協議会—専門部会(活性化事業の検討・協議、調査研究)

※特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構(公共と民間の調整、公共と民間のはざま事業の推進、地域振興に寄与する民間事業への支援)

事業等実施箇所(59事業)



【位置・範囲が特定されない事業】

- ・4-7 公共空間を活用した賑わい創出事業
- ・6-2 若年夫婦・子育て世帯家賃補助
- ・6-3 住宅取得支援事業補助
- ・6-4 地域優良賃貸住宅建設費上乗せ補助
- ・7-1 中心商業地出店等促進事業
- ・7-2 魅力ある商店街等支援事業
- ・7-4 ガンバルまちなか活性化支援事業
- ・7-6 商店街次世代経営者育成事業
- ・7-8 公衆無線LANシステム構築事業
- ・7-10 冬の夜間景観賑わい創出事業
- ・8-1 公共交通利用促進事業
- ・8-2 LRTの導入
- ・8-3 自転車利用・活用促進事業
- ・8-4 バス路線の新設・拡充
- ・8-5 大谷石蔵等歴史的建造物保存・活用事業
- ・8-6 スマートエネルギーCityの構築
- ・8-8 安全で快適なまちづくり推進事業
- ・8-9 まちづくり担い手育成事業
- ・8-10 もったいない運動の推進
- ・8-11 中心市街地緑の回遊事業
- ・8-13 観光情報発信強化事業(観光情報ARアプリ)
- ・8-14 街なか暮らし魅力発信事業
- ・8-15 「おもてなし運動」推進事業
- ・8-16 中心市街地活性化ソフト事業

【計画期間内に事業化を目指すもの】

- ・立地適正化計画による都市機能の誘導
- ・公共機能の再配置
- ・低・未利用地の利活用事業
- ・LRTのJR宇都宮駅西側導入を見据えた街なか活性化事業
- ・空き店舗等の活用促進事業
- ・快適な自転車利用空間整備事業
- ・生活支援サービス提供事業
- ・プロスポーツと連携した商店街活性化事業
- ・街なか活動ポイント制度事業
- ・アートによる賑わい創出事業
- ・宇都宮あびす市事業
- ・愉快な街の得するゼミナール教室事業
- ・中心市街地活性化策提案事業

0 250 500m

凡例

- 4- 市街地の整備改善に資する事業
- 5- 都市福祉施設の整備に資する事業
- 6- 街なか居住の推進に資する事業
- 7- 経済活力の向上に資する事業
- 8- 公共交通の利便性の増進及び特定事業の推進に資する事業

活性化戦略1
【リーディングエリア:賑わいの中心となる重要なエリア】

- ・オリオン通り(商業)
- ・オリオンスクエア・宮カフェ(拠点・交流)
- ・二荒山神社周辺(商業、業務、住居)

活性化戦略2
【ユニオンエリア】ユニオン通り(商業)

- 【交流エリア】中央生涯学習センター(交流)
- 【親水エリア】釜川(憩い)
- 【歴史エリア】宇都宮城址公園(歴史・文化、憩い)
- 【JRエリア】都心核づくり
- 【小幡・清住エリア】基盤整備、住環境整備

「第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画」計上事業一覧表

【計上事業】 59事業（再掲5）（うち計画期間内に事業化を目指すもの 13事業）

☆新規事業：15（うち計画期間内に事業化を目指すもの 12事業）

・継続事業：44（再掲5）

〔※第1期計画期間内において新たに取組に着手し、第2期計画から計上した事業：15（再掲2）〕

（網掛け） … 民間事業：25（再掲1）

【◎：重点事業】 17事業（再掲3）

以下の視点から中心市街地活性化への波及効果が高い事業を設定

①目標指標の達成に貢献度の高いもの

②市民ニーズにおいて重要度が高く満足度が低い（重点化が必要な）もの

目標	施策	No.	区分	重点事業	事業名	実施主体	概要	取組時期				
								H27	H28	H29	H30	H31
目標1 宇都宮の“顔” となり市全体を けん引する活力 あふれるまち	施策1-1 都市機能の集積 【5事業】	1	※	◎	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備	宇都宮市, 民間事業者	市街地再開発事業の推進や、駅前広場の整備改善、低未利用地の活用等の地区整備の推進	●	●	●	●	●
		2		◎	JR宇都宮駅東口地区整備事業	宇都宮市, 民間事業者	民間活力の最大限の活用による、広域交流や賑わい創出機能の導入など、本市のまちづくりをリードする新たな都市拠点の形成	●	●	●	●	●
		3	※	◎	宇都宮大手地区市街地再開発事業	宇都宮大手地区市街地再開発組合	老朽建築物の共同建替えによる商業・業務・住宅からなる複合施設の整備	●	●	●		
		4			小幡・清住土地区画整理事業	宇都宮市	小幡・清住地区における土地区画整理事業による都市計画道路と住環境の整備	●	●	●	●	●
		5	※		スマートエネルギーcityの構築	宇都宮市	再エネ・省エネ機器の更なる普及拡大と住宅・事業所単位のエネルギーマネジメントの促進	●	●	●	●	●
	施策1-2 地域経済の活性化 【11事業】	6		◎	中心商業地出店等促進事業	宇都宮市, 宇都宮商工会議所	中心商業地への出店等の支援（小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業（洗濯業・理容業・美容業）、教育、学習支援業、医療、福祉を対象）	●	●	●	●	●
		7		◎	魅力ある商店街等支援事業	宇都宮市	販売促進、賑わいづくりなど商店街事業の支援（講習会及び研修会、おもてなし事業（駐輪ラック・ベンチの整備）、ファサード整備）など	●	●	●	●	●
		8	※	◎	ガンバルまちなか活性化支援事業	宇都宮市	生活品の買い物支援や地域のコミュニティ創出などを目的とした空き店舗活用事業に対する助成	●	●	●	●	●
		9			拠点広場を活用した賑わい創出事業	宇都宮市, 民間事業者	拠点広場（オリオンスクエア、パンパひろば）を活用した賑わい創出	●	●	●	●	●
		10			宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」運営事業	宇都宮市, 宇都宮ブランド推進協議会	アンテナショップ「宮カフェ」の運営、本市のブランド価値の向上に向けた魅力等の発信	●	●	●	●	●
		11			オリオン通り商店街振興組合未来創生事業	オリオン通り商店街振興組合	オリオン通り商店街の機能強化と競争力向上を図る事業（ACプラザの運営など）	●	●	●	●	●
		12			ユニオン通り商店街商業活性化事業	ユニオン通り商店街振興組合	ユニオン通りにおける休憩・情報発信スペース「ほっと！ステーション」の運営など	●	●	●	●	●
		13	☆	◎	商店街次世代経営者育成事業	宇都宮市, 宇都宮商工会議所, 商店街	商店街の魅力の発見などを通して商店街の新たな担い手の発掘・育成	●	●	●	●	●
		14	※		まちづくり担い手育成事業	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構	まちづくりを担う人材の発掘・育成や活性化策の具現化に向けた検討（マチデザインスクールなど）	●	●	●	●	●
		15	※		インキュベーション事業	宇都宮市, 宇都宮ベンチャーズ	起業家に対する「経営支援」など	●	●	●	●	●
		16			公衆無線LANシステム構築事業	宇都宮市中心商店街活性化委員会	自由にインターネットが利用できる環境の整備及び商店街や観光等の情報の提供	●	●	●	●	●

目標	施策	No.	区分	重点事業	事業名	実施主体	概要	取組時期				
								H27	H28	H29	H30	H31
目標2 街なかならではの魅力と賑わいあふれるまち	施策2-1 地域資源を活用した魅力づくり 【15事業】	17		◎	魅力ある景観づくり事業	宇都宮市	景観形成重点地区（釜川周辺地区及び小幡・清住地区）の指定と市民協働による景観づくり	●	●	●	●	●
		18			釜川整備活用事業	釜川プロムナード整備協議会、特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構など	釜川の「花」をテーマにした植栽の整備、釜川の魅力発信と賑わいづくりのための「釜川枝垂れ桜まつり」などの実施	●	●	●	●	●
		19	☆	◎	公共空間を活用した賑わい創出事業	宇都宮市、商店街など	道路など公共空間を活用した賑わいや憩いの場（オープンカフェ等の設置）の創出	●	●	●	●	●
		20			中心市街地緑の回遊事業	宇都宮市、宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会、特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構、商店会、釜川プロムナード整備協議会	中心市街地内の緑化推進等による回遊性の向上（中心市街地緑化事業、樹木の里親制度）	●	●	●	●	●
		21			歴史・文化財活用推進事業	宇都宮市	宇都宮城址公園内ガイダンス施設における歴史・文化財の情報発信（文化財ボランティアによる歴史的資源の案内など）	●	●	●	●	●
		22			中心市街地における文化振興事業	宇都宮市、うつのみや文化創造財団、NHK文化センター	表参道スクエアにおける芸術と文化の情報発信（サテライト美術館における鑑賞機会、妖精によるまちづくり推進事業、NHK文化センターにおける生涯学習教室）	●	●	●	●	●
		23	※		大谷石蔵等歴史的建造物保存・活用事業	宇都宮市、特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構	大谷石蔵等のデータベース化の推進、保存・活用促進に向けた手法の構築	●	●	●	●	●
		24			民間による大谷石蔵活用事業	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構、民間事業者	大谷石蔵（旧公益質屋）を活用した飲食物販施設の管理・運営	●	●	●	●	●
		25			地域教育推進事業	宇都宮市	中央生涯学習センター等における人づくり・地域づくり事業や各種講座の開催	●	●	●	●	●
		26			「おもてなし運動」推進事業	宇都宮市	来訪者が「また行ってみたい」まちづくりの推進（観光ボランティア事業、赤ちゃんの駅事業）	●	●	●	●	●
		27	※		もったいない運動の推進	宇都宮市もったいない運動市民会議	ひと・もの・まちを大切に「もったいないのこころ」の醸成（もったいないフェア宇都宮の開催、もったいないクールシェアの実施）	●	●	●	●	●
		28			中心市街地活性化ソフト事業	宇都宮市、民間団体	中心市街地へ観光客等の来訪者を誘致するためのイベント開催（宇都宮餃子祭り、ふるさと宮まつり、宇都宮城址まつり等）	●	●	●	●	●
		29			冬の夜間景観賑わい創出事業	中心市街地ライトアップ実行委員会、歴史と光のフュージョン・プロジェクト実行委員会、商店街、特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構	商店街沿道や拠点広場等におけるイルミネーション・ライトアップなど	●	●	●	●	●
		30			「自転車のまち宇都宮」発信事業	宇都宮市	ジャパンカップクリテリウムの開催や宮サイクルステーションにおける自転車利用の促進	●	●	●	●	●
		31	※		観光情報発信強化事業（観光情報ARアプリ）	宇都宮市	携帯端末情報を活用した観光情報の発信	●	●	●	●	●
目標2 誰もが利用しやすい移動手段の確保 【4事業】	施策2-2	32	※	◎	LRTの導入	宇都宮市、芳賀町	LRTの導入による東西基幹公共交通軸の整備（JR宇都宮駅東側の優先整備）	●	●	●	●	●
		33	※		バス路線の新設・拡充	宇都宮市	公共交通空白地域と中心市街地を結ぶバス路線の新設・拡充	●	●	●	●	●
		34		◎	公共交通利用促進事業	バス事業者、宇都宮市	マイカー利用者の意識転換を図るモビリティ・マネジメント施策の推進	●	●	●	●	●
		35			自転車利用・活用促進事業	宇都宮市	駐輪場や自転車走行空間の整備	●	●	●	●	●

目 標	施 策	No.	区 分	重点 事業	事 業 名	実施主体	概 要	取組時期				
								H27	H28	H29	H30	H31
目標3 誰もが憧れ「住みたい・住み続けたい」と思いうまち	施策3-1 居住環境の整備 【8事業】	36			小幡・清住土地区画整理事業（再掲）	宇都宮市	小幡・清住地区における土地区画整理事業による都市計画道路と住環境の整備	●	●	●	●	●
		37	※	◎	宇都宮大手地区市街地再開発事業（再掲）	宇都宮大手地区市街地再開発組合	老朽建築物の共同建替えによる商業・業務・住宅からなる複合施設の整備	●	●	●		
		38		◎	魅力ある景観づくり事業（再掲）	宇都宮市	景観形成重点地区（釜川周辺地区及び小幡・清住地区）の指定と市民協働による景観づくり	●	●	●	●	●
		39		◎	都心部道路景観整備事業（市道3号線）	宇都宮市	市道3号線（ユニオン通り）の無電柱化等による潤いある道路空間の整備	●	●	●		
		40	※	◎	ガンバルまちなか活性化支援事業（再掲）	宇都宮市	生活品の買い物支援や地域のコミュニティ創出などを目的とした空き店舗活用事業に対する助成	●	●	●	●	●
		41			地域優良賃貸住宅建設費上乗せ補助	宇都宮市	地域優良賃貸住宅に対する建設費の上乗せ補助	●	●	●	●	●
		42			地域教育推進事業(再掲)	宇都宮市	中央生涯学習センター等における人づくり・地域づくり事業や各種講座の開催	●	●	●	●	●
		43			安全で快適なまちづくり推進事業	宇都宮市, 自主防犯活動団体など	市民団体等と連携した防犯パトロール, 地域による防犯灯・防犯カメラの設置支援, 違法駐車防止対策, 自転車放置防止対策, 指導員等の巡回等による, 安全で快適な中心市街地づくりの推進	●	●	●	●	●
	施策3-2 街なか居住の促進 【3事業】	44	※	◎	若年夫婦・子育て世帯家賃補助	宇都宮市	中心市街地内に転居・転入する若年夫婦世帯及び子育て世帯に対する家賃の補助	●	●	●	●	●
		45	※	◎	住宅取得支援事業補助	宇都宮市	中心市街地に住宅を取得し, 転入する世帯に対する取得費の補助	●	●	●	●	●
		46	☆		街なか暮らし魅力発信事業	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構	街なかの住みやすさ, 利点など, 生活に必要な情報について冊子等で紹介	●	●	●	●	●

◎計画期間内に事業化を目指すもの

	No.	区 分	事 業 名	実施主体	概 要	取組時期					
						H27	H28	H29	H30	H31	
都市拠点の形成に向けた取組 【3事業】	1	☆	立地適正化計画による都市機能の誘導	宇都宮市	中心市街地に誘導する都市機能等の位置づけ, 民間投資の喚起・誘導を図り都市機能の集積を促進						
	2	☆	公共機能の再配置	宇都宮市	中心市街地活性化等に資する施設の再配置等の検討			検討・実施			
	3	☆	低・未利用地の利活用事業	宇都宮市, 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構など	・低・未利用地等（コインパーキングも含む）に係る土地問題への対応事業の創出 ・空き家等の未利用物件の有効活用の仕組み等の構築 ・公有財産の有効活用			検討・実施			
民間主体による取組 【10事業】	4	☆	LRTのJR宇都宮駅西側導入を見据えた街なか活性化事業	宇都宮商工会議所, 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構など	L R T の J R 宇 都 宮 駅 西 側 導 入 を 見 据 え た 中 心 商 店 街 の 活 性 化 事 業 の 創 出			検討・実施			
	5	☆	空き店舗等の活用促進事業	宇都宮市, 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構, 宇都宮商工会議所, 商店街など	借り手のつかない空き店舗等（空きビルも含む）の解消に向けた, 借りやすい仕組み等の構築			検討・実施			
	6	☆	快適な自転車利用空間整備事業	商店街など	商店街における自転車走行空間や店舗前駐輪スペースの確保など, 自転車来街者が買い物などに来やすくなる仕組み等の構築			検討・実施			
	7	☆	生活支援サービス提供事業	宇都宮市, 特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構, 宇都宮商工会議所, 宇都宮市社会福祉協議会, 商店街など	・高齢者を中心市街地に呼び込むための外出のきっかけづくり ・将来的な店舗撤退などにより生じる可能性がある買い物弱者に対する支援事業の創出			検討・実施			
	8	☆	プロスポーツと連携した商店街活性化事業	商店街, 各プロスポーツチーム, 宇都宮商工会議所	スポーツ観戦者を中心市街地へ誘導することや中心市街地内でのプロスポーツ競技の開催など, 新たな活性化事業の創出			検討・実施			
	9	☆	街なか活動ポイント制度事業	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり推進機構, 宇都宮市社会福祉協議会, 商店街など	中心市街地におけるイベントや助け合い活動, ボランティアへの参加により付与されるポイントを購入物などへの利用できる仕組み等の構築			検討・実施			
	10	☆	アートによる賑わい創出事業	宇都宮商工会議所	専門家, 大学, 専門学校, 商店街等と連携したアートイベント等の開催など			検討・実施			
	11	☆	宇都宮あびす市事業	宇都宮商工会議所	遊休地等を活用し, 商業活性化, 起業家育成, テストマーケティングを目的としたミニマルシェの開催			検討・実施			
	12	☆	愉快的街の得するゼミナール教室事業	宇都宮商工会議所	中心商店街の各商店が講師となり, 各商店の専門知識や特性, ネットワークを活かした講座などの開催による商店街, 各商店のファンづくり			検討・実施			
	13			中心市街地活性化策提案事業	中心市街地活性化協議会	中心市街地の課題解決に向けた活性化事業の提案			検討・実施		